

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 大園小学校区



令和6年6月21日（金）、コミュニティ協議会や民生児童委員、PTA、地域包括支援センター、中学校生徒会など13人の皆さんにお集まりいただき、大園小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、地域の方が元気に大園小学校区で暮らし続けられるようにそれぞれの立場で取り組んでいることや、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①認知症高齢者のひとり歩き（徘徊）への対応について

認知症高齢者が増え、ひとり歩き（徘徊）による行方不明も増えている。行政の取組みとして、GPS等を利用してひとり歩き（徘徊）で困っている方に何か対応できるといいのではないか。

市の考え方
回答

認知症のかたがひとり歩き（徘徊）により行方不明になられた場合に、ご家族へ位置情報を提供することで早期発見につなげる取組みとして、GPS端末を貸与し、所在位置の確認及び早期発見につなげるサービス「徘徊高齢者等家族支援事業」を実施しています。

このサービスでは、位置情報の提供に加え、要請すれば、緊急対処員が現場へ急行する「駆けつけ付きサービス」と、損害賠償責任保険付きの「保険付きサービス」の2種類から選んでいただくことが可能です。

（「保険付きサービス」はGPS端末を内蔵可能な専用靴も付属可能。）

詳しくは各総合事務所地域福祉課、または、お近くの地域包括支援センターにお尋ねください。



▲ 詳しくはこちら

②災害対策の取組みについて

この地区は土砂災害特別警戒区域が散在している。災害が発生する恐れがある場合などに、どのように取り組まれるのか知りたい。

市の考え方
回答

大雨や台風等災害が発生するおそれがある場合は、市では避難情報を発令し、段階に応じて避難していただくようお願いしています。

避難関連の取組みについては、平成23年度から地域住民が自らの地域の危険箇所や避難所などを地図上で確認し、話し合いながら作成する地域防災マップの作成や、平成30年度からは、地域での防災訓練や防災講話等において、あらかじめどのタイミングでどこに避難するのかをご家族や周囲の方々と話し合っておくマイ避難所の考え方の啓発活動を実施しています。

また、令和6年度から地域の防災行動計画であるコミュニティタイムラインの作成を地域防災マップの作成や見直しに併せて実施しています。

③河川整備について

現在、滑石地区で河川工事がされている。河川が整備されたら、地域住民で川をきれいにして、ホタル飛ばす川にしたら、きっと魅力的なまちになると思う。楽しい雰囲気や遊べる場になるといいと思う。

市の考え方
回答

河川工事については、管理者である県と調整をしながら施工しており、令和12年度までの予定で整備を進めています。

この河川整備の一部区間においては、親水性を持たせる計画としており、緩やかなスロープで川まで降りていけるような場所や、川のすぐ近くを歩けるような遊歩道を整備する予定です。

そのほか、「子どもたちの安全安心につながる体験活動をしたい」、「日頃のあいさつで顔が見える地域をつくらきたい」、「民生委員の担い手が不足しているのでPRしてほしい」、「滑石にスポーツセンターができるといい」などのご意見をいただきました。



鈴木市長のひと言

地域の皆さんが様々な立場で活動され、地域に貢献いただいていることがわかりました。そうゆう中で次を担う若い世代を育ててきており、好循環が生まれていることを嬉しく思います。

子どもたちも地域の一員として小さいときから地域と関わることで、自分の育った地域への思いも育まれていくと思いますので、これからも頑張ってください。



参加者からの感想

若い世代の意見も真剣に聞いてくれて嬉しかったです。

市長と直接対話できて、非常に良かったです。今後も実施していただきたいです。

いろいろな立場の方の意見や思い、課題を聞くことが出来て良かったです。

新しいものではなく、今あるものを最大限に活かせる地域にしていきたい。

